



中津森出身
(71歳)

品運動と言つて、東京に来る
と焼酎を持つて歩く。そういう
ことをやりながら東京へ來
る人は非常に多い。それは、
そこで情報を得て、刺激を求
めて、その刺激を元に戻して、
国でその刺激をもう一度やつ
てみる。そこで何かできそう
だという目途をつけて、また
飛び出す。このサイクルをう
まく回しているのが、今の行
政でもあり、会社でもある。
ものの考え方が全然変わつ
て来ている今、その変わり目
に何をしようか、そこで新し
い情報を求めて、刺激を得て、
それによつて自分の目をつく
つて行く、このことが今大事
ではないでしょうか。

**市民の安らぎの場が
欲しい**

市民がやりたいと思つてゐることを先取りしてしまつ。それは、参加したくなつてしまふようなことをする。今はそういうことが出来る時代になつて来たんぢやないかと思います。また、次の世代に何かを残してやりたい、ようやくそういうことを模索しはじめた時代になつたと思います。

この間、鹿留の上流に行きました。都會から釣り人がよく来ていますね。あそこは、私が一番大切にして欲しかつた部分だつたんです。行つたら、河原という河原に全部キャンプを張つてゐるんです。もう立ち入るすきがないんです。これは素晴らしいといふ氣持ちは一方に在るんですが、管理ということを思い出しました。これには、民間ではなく、出来れば市が率先してやつていただき、開発もして欲しいんだつて、経済合理性だけでやつてしまふと、弊害だけが出来ます。しかも、都留市民が誇りとする安らぎの場となるようにして欲しい。例えば夏休みが終わつたら、子供達を集めて、遠足清掃大会なんかをして、より身近なものとして行く。そうゆうことが出来る時代になつたような気がします。

PRが大切

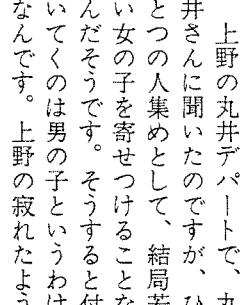


西室陽一氏 上谷一丁目出身
(59歳)

この間、鹿留の上流に行きました。都会から釣り人がよく来てますね。あそこは、私が一番大切にして欲しかった部分だつたんです。行つたら、河原という河原に全部キンブを張つているんです。もう立ち入るすきがないんです。これは素晴らしいといふ気持ちは一方に在るんですけど、管理ということを思い出しました。これには、民間ではなく、出来れば市が率先してやつていただき、開発もして欲しいたんに、経済合理性だけでや

私達の小さい時から、富士吉田は、富士五湖がある、富士山がある。大月は鉄道の分歧点としての位置にある。谷村だけは何にもない。私は、横浜に住んでいます。奥秋さんはどこの出身、谷村です。都留市ですと言うと、知らなんですね。なんだか昔からひなびた町のような気になってしまってます。

若い街に

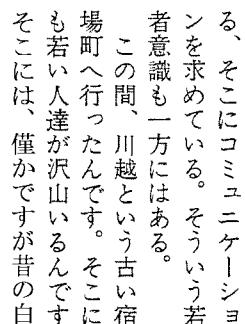


西室陽一氏 上谷一丁目出身
(59歳)

本木・青山は別にあるんだ。そういう街づくりをすることがいいような気がする。

私は、月に一度渋谷に行くのです。若者の街渋谷に、色々なものを含めて街の活気が違います。年を取つたら渋谷に行けない、年を取つても渋谷に行つて若者の趣味を吸収して来る、このくらいの気持ちが必要じやないかと思います。ひとつその辺を研究したらと思います。

思想を持った街づくり



そこも芝町者、だるるを章

思想を持つた街づくり
国井氏　若い人の話しだすけど、原宿・六本木へ行きたがる状況があつて、一方では、浅草の近くの根津という、本当に昔風のちょっとした細工物を作っている人達しか住んでいないようなどころに若者が行く傾向がある。原宿・六本木には、外国に負けないほどのファションの世界があるとすれば片方には、昔の古いかんざしみたいな物を売っている所が

い頃は、教育は國中ということが言われていました。この大学を宣伝することが、結局は都留市の宣伝になるよう思います。

な所でさえそうなつてしまふ
浅草のカーニバルは、浅草
へ来る客が減つてしまつて、
それで仕方なしにやつてゐる
のがカーニバルなんです。長
く続くか、続かなへかは、も